

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	平成28年度第1回入間市児童センター運営委員会
開 催 日 時	平成28年7月27日(水) 午前10時00分開会・11時30分閉会
開 催 場 所	入間市児童センター 集会室
議 長 氏 名	町田 和美 委員長
出席委員(者)氏名	町田和美委員長 嶋原絹代副委員長 西村めぐみ委員 齋藤治美委員 鈴木雅晴委員 島田守子委員
欠席委員(者)氏名	吉野正昭委員 古谷進委員
説明者の職氏名	児童センター主幹 木下義幸
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 挨拶 3 議事 (1) 審議 ① 平成27年度事業実績について ② 児童センター基本方針について ③ 空調設備の改修工事について ④ 指定管理者制度の導入について ⑤ 組織の変更について (2) その他 児童センター開館30周年記念事業について 4 その他 5 閉会
非 公 開 理 由	—
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	1 平成28年度第1回入間市児童センター運営委員会次第 2 平成28年度入間市児童センター運営委員会名簿 3 入間市児童センター基本方針 4 児童センター空調設備改修事業及び指定管理者制度導入準備スケジュール(事務局案) 5 指定管理者制度導入スケジュール(案) 6 市内の施設の指定管理の現状 7 児童館の設置運営状況(H27.5) 8 平成29年度入間市行政機構図(案)

事務局職員職氏名	生涯学習部長 生涯学習部次長 生涯学習部生涯学習課長 児童センター所長 児童センター主幹 児童センター副主幹 児童センターパート職員	長谷川 芳明 新見 輝明 片寄 貴之 渡邊 泰典 木下 義幸 山崎 真弘 小川 結未佳
会議録作成方法	要点筆記	

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

議事の概要

(1) 審議

- ① 平成27年度事業実績について（平成28年度児童センター要覧より説明）
- ② 児童センター基本方針について（資料により説明）
- ③ 空調設備の改修工事について（資料により説明）
- ④ 指定管理者制度の導入について（資料により説明）
- ⑤ 組織の変更について（資料により説明）

(2) その他

児童センター開館30周年事業について（口頭説明）

決定事項

- ・ 議事①～⑤の事務局の報告については了承を得られた。
- ・ 児童センター開館30周年事業については、予算の確保、実行委員会の設置などを進め、実施を要望する。

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶</p> <p>(1) 町田委員長</p> <p>おはようございます。今年度1回目の運営委員会ということで皆様方にお集まりいただき、ありがとうございます。この間、朝走っている時に、道路の反対側からリュックを背負った若い子を見かけたのですが、スマートフォンを持っており、非常に疲れた様子で歩いていました。我々が子供の頃と今と大きく違うのは通信技術です。子供達にはそういうものに振り回されないよう、これが正しい、これはこうだというものをぜひ持って成長してもらいたいと改めて思うわけです。ぜひ児童センターに遊びに来てもらってここでそういう力を友達との関わりの中で身に着けられるようになれば素晴らしいなと感じています。どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>(2) 生涯学習部長谷川部長</p> <p>4月から前任の福田に代わりまして生涯学習部の部長となりました長谷川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。皆様方には昨年引き続き当センターの運営にお力添えをいただき、また、本日はお忙しい中、1回目の運営委員会に足を運んでいただきましてありがとうございます。おかげさまで当センターの今年度の運営も順調に進んでいまして、5月5日のこどもの日のセンターまつりの時には、今年は隣の入間向陽高校の有名なソングリーダー部の方達に子供達の前で演技を披露していただいて、多くの方にご来館いただきました。また、ここで夏休みに入りましたので子供達もたくさん訪れると思います。児童センターは昭和62年にオープンしたので来年30周年を迎えます。色々な意味で節目の時期を迎えていまして今後の施設運営について考えています。子供の数は減っていますが市では「元気な子どもが育つまち」をテーマにして子育てに力を入れている</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>こうとしています。児童センターが果たす役割は大きいと思っています。 本日は空調の改修工事の予定や今後の運営、組織の変更等のお話もさせていただきますのでご意見等をいただけたらと思います。</p> <p>(3) 職員自己紹介</p> <p>省略</p> <p>3 議事</p> <p>それでは議事に移らせていただきたいと思います。資料も前もってお配りしていただいていたので、この資料に基づいて説明させていただきたいと思います。それでは①平成27年度の事業実績について事務局からお願いいたします。</p> <p>木下主幹 「①平成27年度事業実績」について説明 町田委員長 ご質問等ありましたらよろしくお願いします。 鈴木委員 利用者の集計は、来た人が自分で書いたものを集計しているのですか。 木下主幹 はい。しかし、書かない人もいます。ただ、入口にセンサーが付いているので、その数をトータルとしまして、受付簿に書いてくれたものを見て子供、大人等の区分を按分して利用者を出しています。</p> <p>渡邊所長 カウンターの数のうち実際に受付簿に書いてもらえる数は4割位です。 町田委員長 それでは先に進ませていただいてよろしいですか。 では、②基本方針をお願いします。</p> <p>木下主幹 「②児童センター基本方針」について説明 町田委員長 ご質問等がありましたらお願いします。これは昨年度かなり話し合いをしたのでよろしいですね。 それでは③の空調設備の改修工事についてお願いします。</p> <p>木下主幹 「③空調設備の改修工事」について説明 町田委員長 ご質問等ありましたらお願いします。 鈴木委員 交付金が下りなかったら中止ということですか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
片寄課長	<p>厚生労働省の「次世代育成支援対策施設整備交付金」というもので、全体の3分の1の交付金が出る予定です。本来子育てに関する施設が対象ということです。国からの交付金がなくてもその分の予算は確保し、工事は実施するという調整を行っています。金額も規模も大きな工事で通常は公共施設の工事となりますと、閉館が大前提です。契約をして8月、9月に工場で機器を作ってきて現場に入るのが10月からということです。現場に入った段階で空調すべてがストップになりますので、10月、11月は空調も必要なく、お客様も快適に来られるだろう、12月は暖房を入れたほうがよいだろう、でも安全性を確保し、短い工期で実施したいと思います。あと、子供達の安全、安心を考えた上で運営を続けていかなければならないと考えています。今は来年に向けて設計をしています。</p>
町田委員長	<p>5ページのスケジュール(案)の中で平成28年度中というのがあり、ここに情報収集及び視察や募集要項、仕様書原案等作成とありますが、運営委員はここに関わるのですか。</p>
木下主幹	<p>これにつきましては職員、事務局側の事務について記載されています。これまで、運営委員には指定管理導入済みの児童館等を視察していただきましたが、今後導入するに当たってもう少し他の施設を見る必要があるということであれば、そういった施設を職員が見に行ったり、情報を集めたりしなくてはいけないということです。ですので、運営委員が視察することではなく、こちらで情報収集をしなくてはいけないし、仕様書や募集要項も作り出さなければいけないということです。</p>
町田委員長	<p>他にいかがでしょうか。</p>
齋藤委員	<p>今まではプラネタリウムの話が続いてきましたが、急に空調の話が出てきましたね。</p>
片寄課長	<p>施設の設置とともにプラネタリウムと空調も一緒にできたわけです。両方とも実施計画の中で、予算計上を要求しています。ただ、どちらを先に行うべきかということ考えた時に、プラネタリウムは周辺機器について</p>

発 言 者	発 言 内 容
町田委員長	<p>は壊れることがあるのですが、真ん中の一番大事な本体についてはまだメンテナンスをして使えるのです。しかし、空調はもう取り替える時期が来ていますので、そちらを先に行いたいと考えています。ただ、いずれも大きな金額なので一度に両方はできないということです。</p> <p>プラネタリウムについて最初はここで課題をいただいて、いかにするべきかと視察や検討をさせていただき、今年度の事業実績を見ても、利用者は減っていてもプラネタリウムは増えている、そういう状況を色々考えた時にぜひ継続してもらいたいと運営委員会としての意見を出しました。ぜひ前向きに考えていただきたいのです。指定管理者になっている児童センター、児童館を視察しましたが、指定管理者になった時のデメリットは施設の改修とか工事関係、改修や修繕に予算がなかなか付かなくなる傾向があると感じたので、その辺も含めて指定管理者に移行する前、後にでも検討していただければと思います。他にいかがでしょうか。</p> <p>それでは④指定管理者制度の導入についてお願いします。</p>
木下主幹	<p>「④ 指定管理者制度の導入」について説明</p>
町田委員長	<p>指定管理については昨年度上尾市とふじみ野市の児童館を見させていただいたのですが、それを含めてご質問等ありましたらお願いします。</p>
鈴木委員	<p>市からは人は全く出さないのですか。つまり所長を含めて全部指定管理になるのですか。</p>
片寄課長	<p>児童センターのあり方を考えていく中で、丸々指定管理でできる施設もあれば、一部市の職員が入らなくてはならない施設もあると思います。あと児童センターが29年になるのですが、運営委員会の中で色々定めていただいたり、ボランティア会の方にお世話になったりしながら行きますので、どういう形がよいのか検討した中で、仕様書の原案の作成、つまりどういう形をお願いしていくのか決めていきます。そういうことはこちらでの協議の中で意見を出していただいたものも反映していきますから、今のところは人を出す可能性もありますが、基本的には指定管理を考</p>

発 言 者	発 言 内 容
町田委員長	<p>えると職員は入っていかないほうがよいのかなという考えはあります。</p> <p>その辺についてはいかがでしょうか。上尾の児童館は市の職員の所長がいたような記憶があるのですけれど。</p>
木下主幹	<p>地域振興公社が運営してまして、所長も公社から出ていたと思います。管轄は市の青少年課です。</p>
町田委員長	<p>いずれにしてもどこも立派に運営されていますよね。運営委員会としましても、そういう方向性がよいのかなという結論が出ています。その他いかがでしょうか。では、これは1年延びて平成30年4月から導入ということになるのですね。運営委員会のようなものも残していこうというわけですね。</p>
片寄課長	<p>そうです。やはり皆様のご意見を聞きながら、また、ボランティア会の協力を得ながら運営していくのが児童センターです。そういう部分が中心になるのが入間市流の児童センターなのかなという気持ちもあります。その際、決定に際してはまた皆様にご意見を賜ることがありますのでよろしくをお願いします。</p>
町田委員長	<p>それでは⑤の組織の変更についてお願いします。</p>
片寄課長	<p>「⑤組織の変更」について説明</p>
鈴木委員	<p>元々の施策は福祉部から始まったのですよね。教育委員会に移ってまた市長部局に戻るということですね。</p>
町田委員長	<p>指定管理に移る前の年、ここで組織機構が変わるということですね。そうなるとう生涯学習課と青少年課、この引継ぎをしっかりと行っていただきたいと思います。</p> <p>それでは審議はここで終わらせていただき、(2)のその他についてお願いします。</p>
木下主幹	<p>来年度、児童センターが30周年を迎えるということで、6月のボランティア会代表者会議の中でも皆様からご意見をいただきまして、前回20周年の時もその前も行っているのでもやはり節目である30周年の年にも何</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>かしたいねという話になりました。具体的な内容まではまだ決まっていませんけれども、ボランティアの方からご意見をいただき、事務局等で調整させていただきまして、記念行事が実施できたらと考えています。10年前は児童センターの「星の箱」という歌を作り、「アイクス」という愛称もできました。また、遊戯室で記念式典を行いました。5月5日の児童センターまつりの時に少年少女合唱団を呼んでそこで歌ってもらったり、子供に星の箱の歌詞を木彫りで製作してもらい遊戯室に貼り付けたり、星の箱のCDを作ったりするなどのイベントを行いました。来年度に行うために、もう動き出して準備を始めなければいけないと思います。皆様と一緒に考えていきたいと思っています。</p>
鈴木委員	<p>記念式典は大々的に行ったのですよね。</p>
木下主幹	<p>そうですね。ただ、今回は丁度工事と重なってしまいますので。</p>
鈴木委員	<p>結局、どうなるかよく分からなかったので動き出すのが遅れてしまったのですよね。</p>
木下主幹	<p>そうですね。今のところ、来年度の前半は通常通り開館する予定です。前回と同じように児童センターまつりの時に合わせて何か行うのもよいでしょうし、これから色々考えたいと思います。皆様からもご提案等ありましたらお申し付けください。参考にさせていただきます。</p>
鈴木委員	<p>本日はボランティア会の会長の吉野委員がご欠席ですので、私からお話をさせていただきます。この間の代表者会議の中で、30周年記念事業は行わなくてよいのかという話が出ました。実は20周年の時にはこの時期にはもう行うことが決まっていたのです。ただ、今回は工事の関係で、ひょっとしたら行事はだめかもしれないということで、延び延びになっていたのです。今日お話をいただいて実施が可能だということが分かったのもし行うのならいつ頃がよいのかと考えているのです。</p>
齋藤委員	<p>学校の記念行事等を私達が実施した時は2、3年前から準備をしてバザーをしたりして予算を積み立てて使ったわけですが、その10周年、20</p>

発 言 者	発 言 内 容
木下主幹	周年の時予算はどうしていたのですか。
鈴木委員	10年前にいた職員に聞いたところ当該年度に予算は何とか確保したようです。
鈴木委員	ほとんどただ同然で行っていました。一般公募したのですが、お礼はほとんどなかったと思います。作曲は当時ボランティア会の会長だった方が音楽の先生をしていらしてその方が行ったのです。ですからみんな自前です。
齋藤委員	そのようにできたらいいのですが、行うのであれば早くから予算を用意するか、そのためのバザー等を行うかしておかないと間に合わないと思います。早めにそのような話をしたほうがよいと思います。
木下主幹	次回の代表者会議が9月に予定されていますので、皆様からご意見を伺いまして必要であれば来年度予算も確保しないといけません。記念誌等を作成したりする場合にはある程度予算が必要になることもあります。
鈴木委員	さすがに10年前だと知っている人はほとんどいないのです。そこで、10年前はこんなことを行いましたというものを作りました。これは各ボランティアに配る予定ですが、まだ会長の承認が得られていません。
町田委員長	ボランティア会の意向としては実施しようということですね。確かにこのような事業を行うためには予算がつきものですから、しっかり確保していかないといけません。
鈴木委員	式典を行うとなると児童センターまつりですね。
町田委員長	高額のものになると前もって計画を立てていかないといけませんが、30周年の記念事業ですので。そうするとボランティア会の皆様の意見も聞いていかないといけませんし、どの位の規模にしていくか、詰めていかないといけません。運営委員会としては実施をお願いしたいと思います。
鈴木委員	前回20周年の時に非常に優れたアイデアだなと思ったのは、公募した170人の子供達が木の板に歌の歌詞を一つずつ掘るといように市全体を巻き込んでいることです。今回も児童センターの内部だけではなくて

発 言 者	発 言 内 容
町田委員長	<p>外部の人も巻き込んだ企画にすればよいと考えます。</p> <p>そのような話もありますので、実行委員会等で検討してください。運営委員会の意向としては30周年を機に児童センターのステップアップとなればと考えています。</p> <p>あとは事務局で早めにボランティア会に話をさせていただいて、実行委員会を組織するのならば早く立ち上げて、早めに検討していただきたいと思います。(2)はよろしいですか。</p> <p>それでは進行は終わりにさせていただきます。</p>
木下主幹	<p>長い間ご審議ありがとうございました。次回の運営委員会は事務局と委員長、副委員長と相談させていただきまして決定したいと思いますのでお願いいたします。運営委員会は年3回から4回ほど行っています。</p> <p>それでは閉会のごあいさつを鳴原副委員長、お願いします。</p>
鳴原副委員長	<p>本日はご協議いただきありがとうございました。次回もよろしく願いいたします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。	
年 月 日	
議 長 の 署 名	_____
議長が指名した者の署名	_____